

令和元年 10 月 18 日
福島県商工労働部
ロボット産業推進室

福島ロボットテストフィールド試験用トンネル等の開所について

福島ロボットテストフィールドの試験用トンネル他 4 施設を 10 月 25 日に開所します。

福島イノベーション・コースト構想に基づき整備を進める福島ロボットテストフィールド（RTF）は、物流、インフラ点検、大規模災害などに活用が期待されるドローン、災害対応ロボット、自動運転ロボット、水中探査ロボットといった陸・海・空のフィールドロボットを主対象とした世界に類を見ない一大研究開発拠点であり、南相馬市及び浪江町に整備を進めております。

RTF では 2018 年 7 月に通信塔を開所して以降、試験施設を順次開所しており、2020 年春の全面オープンを予定しております。

今般、試験用トンネル、緩衝ネット付飛行場、連続稼働耐久試験棟、市街地フィールド、水没市街地フィールドを 10 月 25 日に開所いたします。

記

1 試験用トンネル

トンネル中での交通事故、崩落、老朽化を再現し、状況確認、捜索、瓦礫除去、老朽化点検に関する試験や操縦訓練を行える長さ 50m、道路幅 6m の丸型トンネルです。2020 年 8 月開催のワールドロボットサミットでは、この施設が使用される予定です。

また、災害対応訓練にも使用でき、県内消防関連機関による消防訓練の実施も予定されています。



試験用トンネル

2 緩衝ネット付飛行場

上面・周囲 150m×80m×有効高さ 15mをネットで覆った飛行場です。野外環境での無人航空機の基本的な飛行性能や自律制御等の評価試験、操縦訓練を行うことができるほか、航空法適用外であるため夜間飛行、物件投下などが法律上の事前申請なしで実施可能です。空飛ぶクルマ開発初期の試験施設としても使用できます。



緩衝ネット付飛行場

3 連続稼働耐久試験棟

コンクリートで覆われた 10m×9.5m×高さ 5m試験スペースで、安全に無人航空機の時間連続稼働耐久試験を実施可能です。



連続稼働耐久試験棟

4 市街地フィールド

住宅4棟、ビル2旨、信号・標識付の交差点などを配置して市街地を再現しています。建物の内外に車両や瓦礫、点検対象物などを設置し、情報収集・調査、障害物除去、人員の捜索・救助、点検に関する試験や操縦訓練ができるほか、道路部分を使った自動走行の試験にも活用できます。



市街地フィールド

5 水没市街地フィールド

50m×19mの屋外プールに住宅2棟を設置して、水害で冠水した市街地を再現し、水上・水中ロボットや無人航空機による情報収集、捜索・救助訓練ができます。点検対象や障害物を沈めた試験、有人ヘリやボートによる救助訓練にも使用できます。



水没市街地フィールド



RTFの開所済み試験施設

【お問い合わせ先】

福島県商工労働部 ロボット産業推進室 (担当：室長 北島)

電話：024-521-8047 県庁内線：3010